

MACS参加施設 (AUD)

	2016年	2017年	2018年
対象施設	19 加算1：13施設 加算2：5施設 その他：1施設	23 加算1：17施設 加算2：5施設 その他：1施設	24 加算1：18施設 加算2：5施設 その他：1施設
病床数 (床)	328 (50, 685)	328 (50, 685)	332 (57, 685)
調査期間	2016年1月～12月	2017年1月～12月	2018年1月～12月

各施設を匿名化し、抗菌薬全体・特定の抗菌薬の使用量を
AUD (DDDs/100 patient-days) で示した。
値は中央値 (最小値, 最大値) で示した。

MACS参加施設 (DOT)

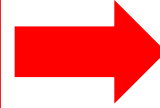
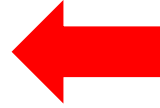
	2016年	2017年	2018年
対象施設	15 加算1：10施設 加算2：4施設 その他：1施設	20 加算1：14施設 加算2：5施設 その他：1施設	21 加算1：15施設 加算2：5施設 その他：1施設
病床数（床）	328 (50, 685)	325 (50, 685)	328 (57, 685)
調査期間	2016年1月～12月	2017年1月～12月	2018年1月～12月

各施設を匿名化し、抗菌薬全体・特定の抗菌薬が投与された日数をDOT（DOTs/100 –patient days）で示した。
値は中央値（最小値, 最大値）で示した。

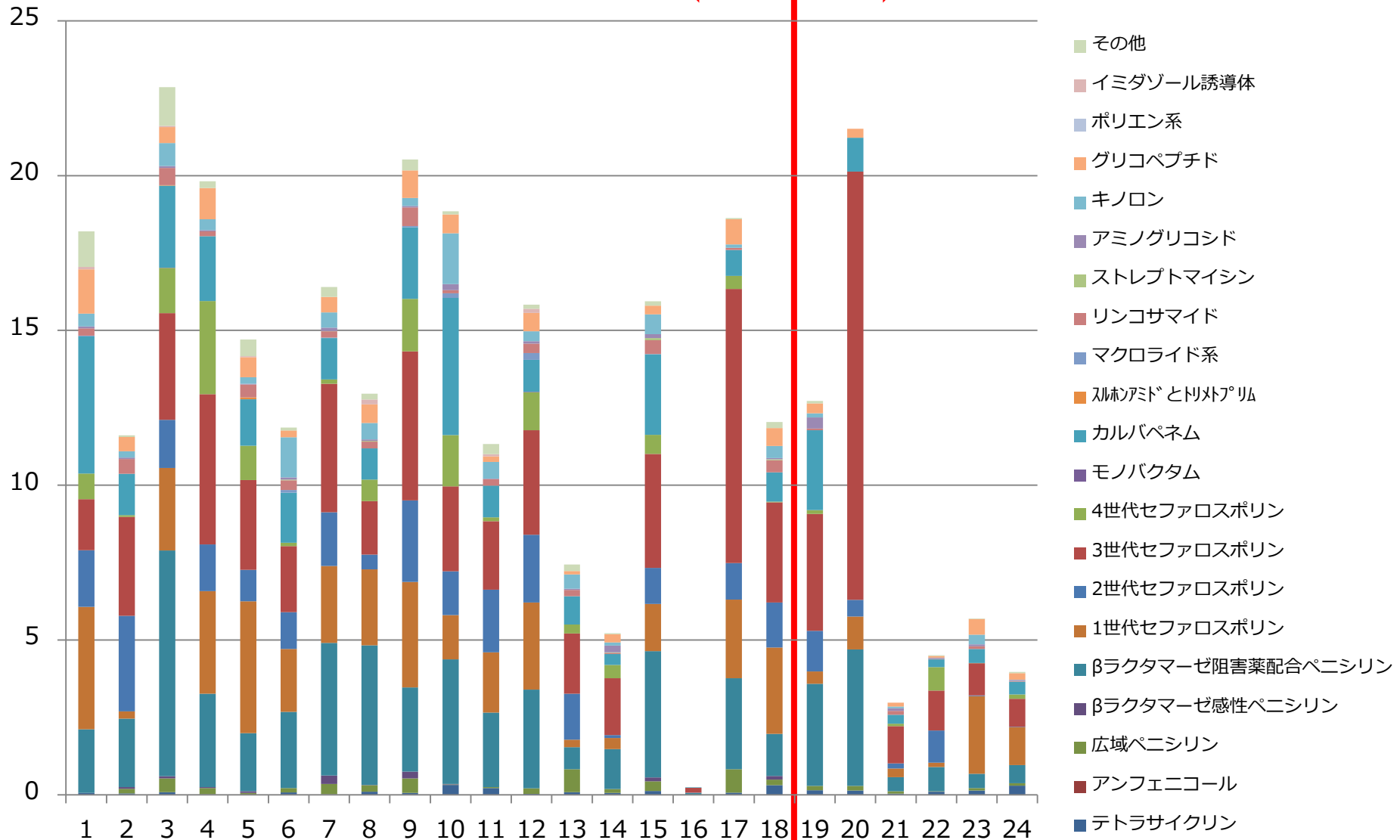
MACS参加施設における2018年のAUD

DDDs/100 patient-days

加算1



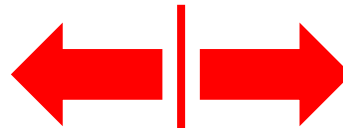
加算2、その他



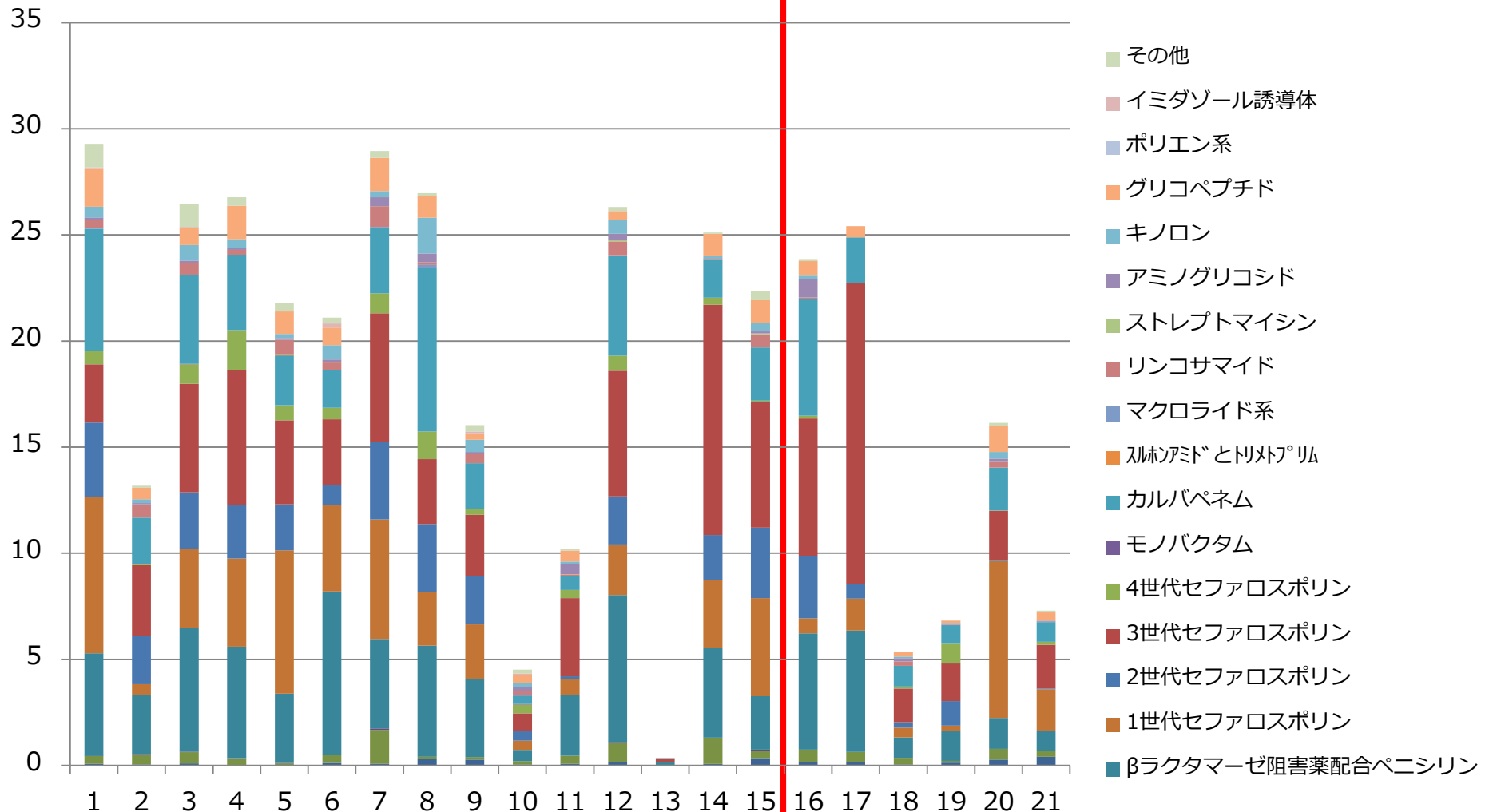
MACS参加施設における2018年のDOT

DOTs/100 patient-days

加算1



加算2、その他



2018年における加算施設別AUDの比較

薬剤名 (ATC 4 level)	加算1	加算2
テトラサイクリン (J01AA)	0.07(0, 0.32)	0.14(0.04, 0.15)
アンフェニコール (J01BA)	0(0, 0)	0(0, 0)
広域ペニシリン (J01CA)	0.18(0, 0.76)	0.08(0.02, 0.15)
βラクタマーゼ感性ペニシリン (J01CE)	0.01(0, 0.28)	0(0, 0)
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン (J01CR)	2.59(0.06, 7.29)	0.78(0.45, 4.41)
1世代セファロスポリン (J01DB)	2.47(0, 4.26)	0.4(0.14, 2.51)
2世代セファロスポリン (J01DC)	1.47(0.01, 3.08)	0.54(0.02, 1.31)
3世代セファロスポリン (J01DD)	3.05(0.16, 8.85)	1.29(1.04, 13.8)
4世代セファロスポリン (J01DE)	0.53(0, 3.01)	0.11(0.01, 0.76)
モノバクタム (J01DF)	0(0.02, 0)	0(0, 0)
カルバペネム (J01DH)	1.34(0.01, 4.43)	0.5(0.25, 2.58)
スルホンアミドとトリメトプリム (J01EE)	0(0, 0.06)	0(0, 0)
マクロライド系 (J01FA)	0(0, 0.22)	0(0, 0)
リンコサマイド (J01FF)	0.23(0, 0.6)	0.05(0, 0.12)
ストレプトマイシン (J01GA)	0(0, 0.07)	0(0, 0)
アミノグリコシド (J01GB)	0.05(0, 0.22)	0.06(0, 0.36)
キノロン (J01MA)	0.4(0, 1.64)	0.05(0, 0.31)
グリコペプチド (J01XA)	0.55(0, 1.43)	0.29(0.06, 0.51)
ポリエン系 (J01XB)	0(0, 0)	0(0, 0)
イミダゾール誘導体 (J01XD)	0(0, 0.16)	0(0, 0)
その他 (J01XX)	0.19(0, 1.25)	0.02(0, 0.08)
総計	15.3(0.24, 22.9)	5.7(2.98, 21.5)

値は中央値 (最小値, 最大値)
 DDDs/100 patient-days

2018年における加算施設別DOTの比較

薬剤名 (ATC 4 level)	加算1	加算2
テトラサイクリン (J01AA)	0.08(0, 0.35)	0.15(0.05, 0.28)
アンフェニコール (J01BA)	0(0, 0)	0(0, 0)
広域ペニシリン (J01CA)	0.36(0.08, 1.59)	0.47(0.09, 0.6)
βラクタマーゼ感性ペニシリン (J01CE)	0.01(0, 0.07)	0(0, 0)
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン (J01CR)	4.22(0.14, 7.71)	1.46(0.96, 5.72)
1世代セファロスポリン (J01DB)	3.18(0, 7.35)	0.7(0.26, 7.39)
2世代セファロスポリン (J01DC)	2.27(0.01, 3.64)	0.67(0.06, 2.96)
3世代セファロスポリン (J01DD)	3.69(0.19, 10.9)	2.31(1.59, 14.2)
4世代セファロスポリン (J01DE)	0.54(0, 1.86)	0.12(0.02, 0.97)
モノバクタム (J01DF)	0(0, 0.03)	0(0, 0)
カルバペネム (J01DH)	2.34(0.01, 7.69)	2.02(0.84, 5.5)
スルホンアミドとトリメトプリム (J01EE)	0(0, 0.07)	0(0, 0)
マクロライド系 (J01FA)	0(0, 0.15)	0(0, 0)
リンコサマイド (J01FF)	0.38(0, 0.98)	0.08(0, 0.26)
ストレプトマイシン (J01GA)	0(0, 0.07)	0(0, 0)
アミノグリコシド (J01GB)	0.11(0, 0.48)	0.16(0, 0.85)
キノロン (J01MA)	0.39(0, 1.68)	0.12(0.01, 0.31)
グリコペプチド (J01XA)	0.83(0, 1.78)	0.54(0.11, 1.23)
ポリエン系 (J01XB)	0(0, 0)	0(0, 0)
イミダゾール誘導体 (J01XD)	0(0, 0.19)	0(0, 0)
その他 (J01XX)	0.27(0, 1.1)	0.02(0, 0.15)
総計	22.4(0.35, 29.3)	16.2(5.35, 25.4)

値は中央値 (最小値, 最大値)
DOTs/100 -patient days

2016年～2018年におけるAUDの比較（加算1）

薬剤名（ATC 4 level）	2016	2017	2018
テトラサイクリン（J01AA）	0.1	0.1	0.01
アンフェニコール（J01BA）	0	0	0
広域ペニシリン（J01CA）	0.4	0.3	0.2
βラクタマーゼ感性ペニシリン（J01CE）	0.2	0.1	0.01
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン（J01CR）	5.9	6.8	2.6
1世代セファロスポリン（J01DB）	2.2	2.3	2.5
2世代セファロスポリン（J01DC）	1.7	1.6	1.5
3世代セファロスポリン（J01DD）	3.1	3.2	3.1
4世代セファロスポリン（J01DE）	0.5	0.7	0.5
モノバクタム（J01DF）	0	0	0
カルバペネム（J01DH）	2.9	2.2	1.3
スルホンアミドとトリメトプリム（J01EE）	0	0	0
マクロライド系（J01FA）	0.1	0	0
リンコサマイド（J01FF）	0.2	0.2	0.2
ストレプトマイシン（J01GA）	0	0	0
アミノグリコシド（J01GB）	0.1	0.1	0.1
キノロン（J01MA）	0.5	0.6	0.4
グリコペプチド（J01XA）	0.5	0.7	0.6
ポリエン系（J01XB）	0	0	0
イミダゾール誘導体（J01XD）	0	0.1	0
その他（J01XX）	0.3	0.2	0.2
総計	19.7	20.3	15.3

値は中央値のみ
 DDDs/100 patient-days

2016年～2018年におけるDOTの比較（加算1）

薬剤名（ATC 4 level）	2016	2017	2018
テトラサイクリン（J01AA）	0.1	0.1	0.1
アンフェニコール（J01BA）	0	0	0
広域ペニシリン（J01CA）	0.4	0.4	0.4
βラクタマーゼ感性ペニシリン（J01CE）	0.1	0	0
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン（J01CR）	3.9	4.6	4.2
1世代セファロスポリン（J01DB）	4.0	3.9	3.2
2世代セファロスポリン（J01DC）	3.3	3.2	2.3
3世代セファロスポリン（J01DD）	4.5	4.8	3.7
4世代セファロスポリン（J01DE）	0.8	0.7	0.5
モノバクタム（J01DF）	0	0	0
カルバペネム（J01DH）	3.9	3.0	2.3
スルホンアミドとトリメトプリム（J01EE）	0	0	0
マクロライド系（J01FA）	0	0	0
リンコサマイド（J01FF）	0.3	0.4	0.4
ストレプトマイシン（J01GA）	0	0	0
アミノグリコシド（J01GB）	0.2	0.2	0.1
キノロン（J01MA）	0.6	0.5	0.4
グリコペプチド（J01XA）	0.8	1.1	0.8
ポリエン系（J01XB）	0	0	0
イミダゾール誘導体（J01XD）	0	0.1	0
その他（J01XX）	0.4	0.2	0.3
総計	24.9	24.7	22.3

値は中央値のみ
DOTs/100 -patient days

2016年～2018年におけるAUDの比較（加算2）

薬剤名（ATC 4 level）	2016	2017	2018
テトラサイクリン（J01AA）	0.1	0.1	0.1
アンフェニコール（J01BA）	0	0	0
広域ペニシリン（J01CA）	0.1	0.1	0.1
βラクタマーゼ感性ペニシリン（J01CE）	0	0.1	0
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン（J01CR）	1.6	1.5	0.8
1世代セファロスポリン（J01DB）	0.5	0.3	0.4
2世代セファロスポリン（J01DC）	0.3	0.2	0.5
3世代セファロスポリン（J01DD）	2.8	1.2	1.3
4世代セファロスポリン（J01DE）	0.2	0.2	0.1
モノバクタム（J01DF）	0	0	0
カルバペネム（J01DH）	1.2	0.5	0.5
スルホンアミドとトリメトプリム（J01EE）	0	0	0
マクロライド系（J01FA）	0	0	0
リンコサマイド（J01FF）	0	0	0.1
ストレプトマイシン（J01GA）	0	0	0
アミノグリコシド（J01GB）	0.2	0.2	0.1
キノロン（J01MA）	0.1	0.1	0.1
グリコペプチド（J01XA）	0.2	0.2	0.3
ポリエン系（J01XB）	0	0	0
イミダゾール誘導体（J01XD）	0	0	0
その他（J01XX）	0	0	0
総計	8.9	4.7	5.7

値は中央値のみ
 DDDs/100 patient-days

2016年～2018年におけるDOTの比較（加算2）

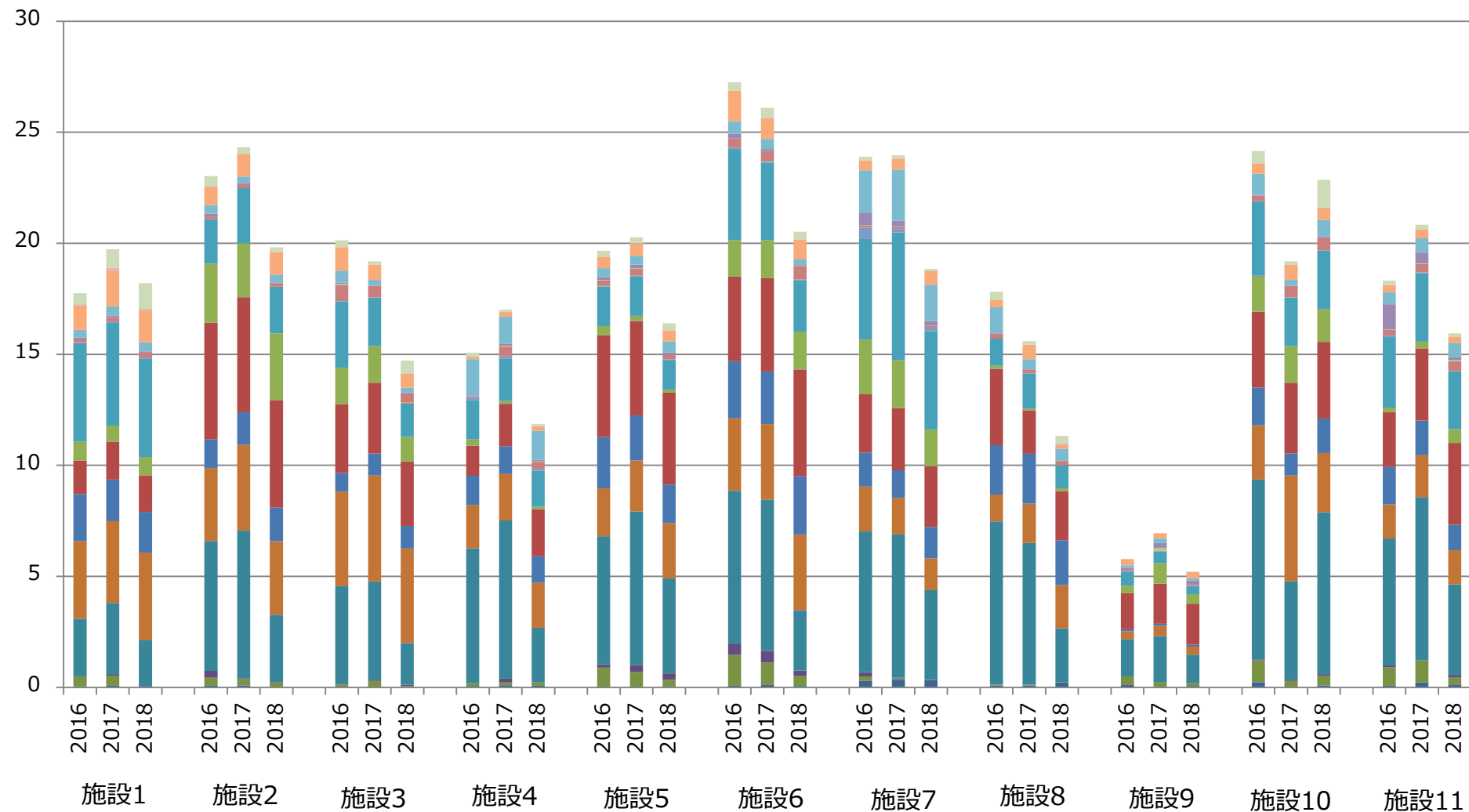
薬剤名（ATC 4 level）	2016	2017	2018
テトラサイクリン（J01AA）	0.1	0.1	0.2
アンフェニコール（J01BA）	0	0	0
広域ペニシリン（J01CA）	0.2	0.3	0.5
βラクタマーゼ感性ペニシリン（J01CE）	0	0.1	0
βラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン（J01CR）	0.9	1.2	1.5
1世代セファロスポリン（J01DB）	0.6	0.5	0.7
2世代セファロスポリン（J01DC）	0.4	0.3	0.7
3世代セファロスポリン（J01DD）	6.2	2.7	2.3
4世代セファロスポリン（J01DE）	0.2	0.3	0.1
モノバクタム（J01DF）	0	0	0
カルバペネム（J01DH）	1.8	0.9	2
スルホンアミドとトリメトプリム（J01EE）	0	0	0
マクロライド系（J01FA）	0	0	0
リンコサマイド（J01FF）	0	0.1	0.1
ストレプトマイシン（J01GA）	0	0	0
アミノグリコシド（J01GB）	0.2	0.3	0.2
キノロン（J01MA）	0	0.1	0.1
グリコペプチド（J01XA）	0.4	0.3	0.5
ポリエン系（J01XB）	0	0	0
イミダゾール誘導体（J01XD）	0	0	0
その他（J01XX）	0	0.1	0
総計	18.1	7.5	16.2

値は中央値のみ
DOTs/100 -patient days

2016～2018年のAUD（加算1）

（3年間連続データ提出 11施設）

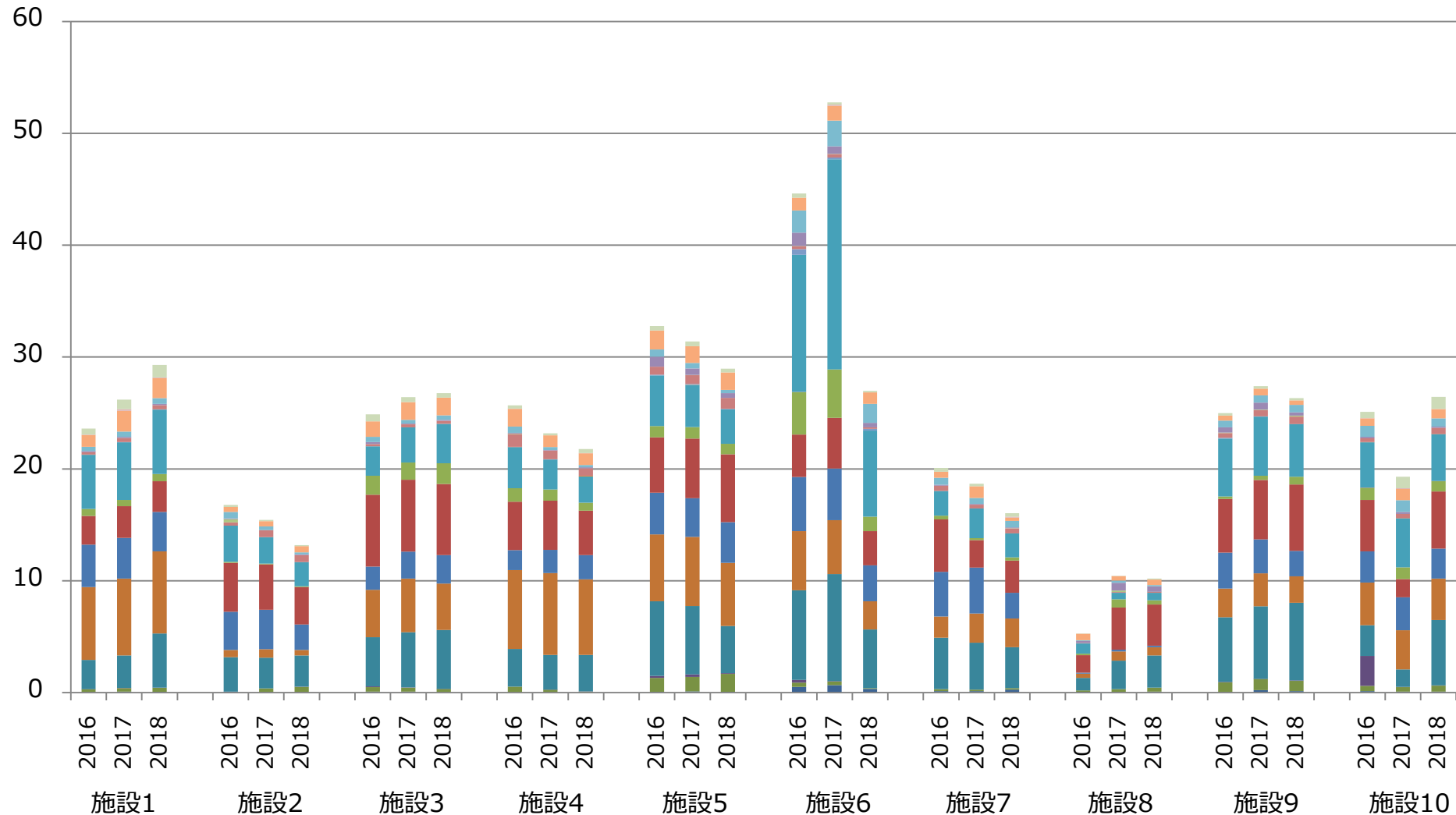
DDDs/100 patient-days



2016～2018年のDOT（加算1）

（3年間連続データ提出 10施設）

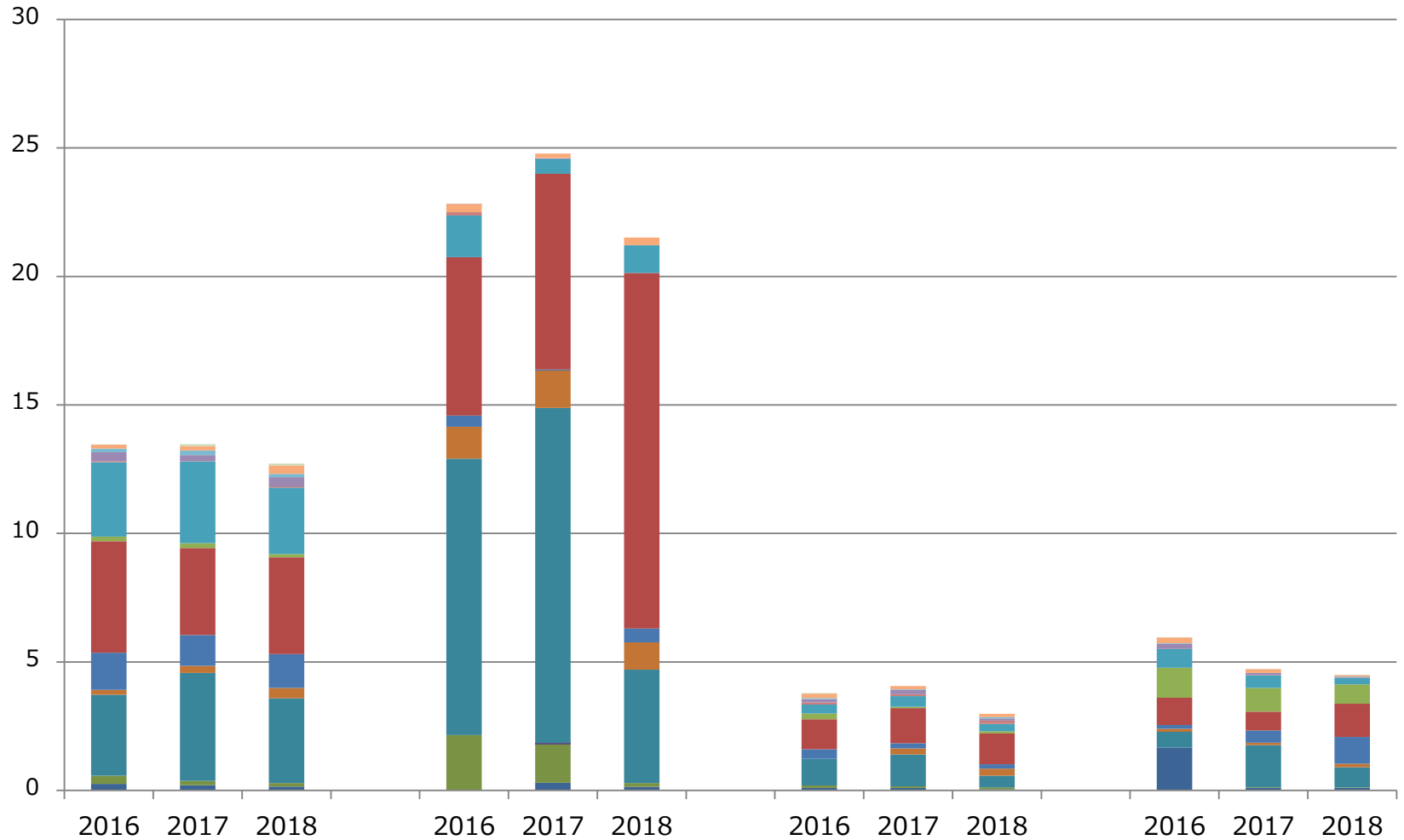
DOTs/100 patient-days



2016～2018年のAUD（加算2）

（3年間連続データ提出 4施設）

DDDs/100 patient-days



施設1

施設2

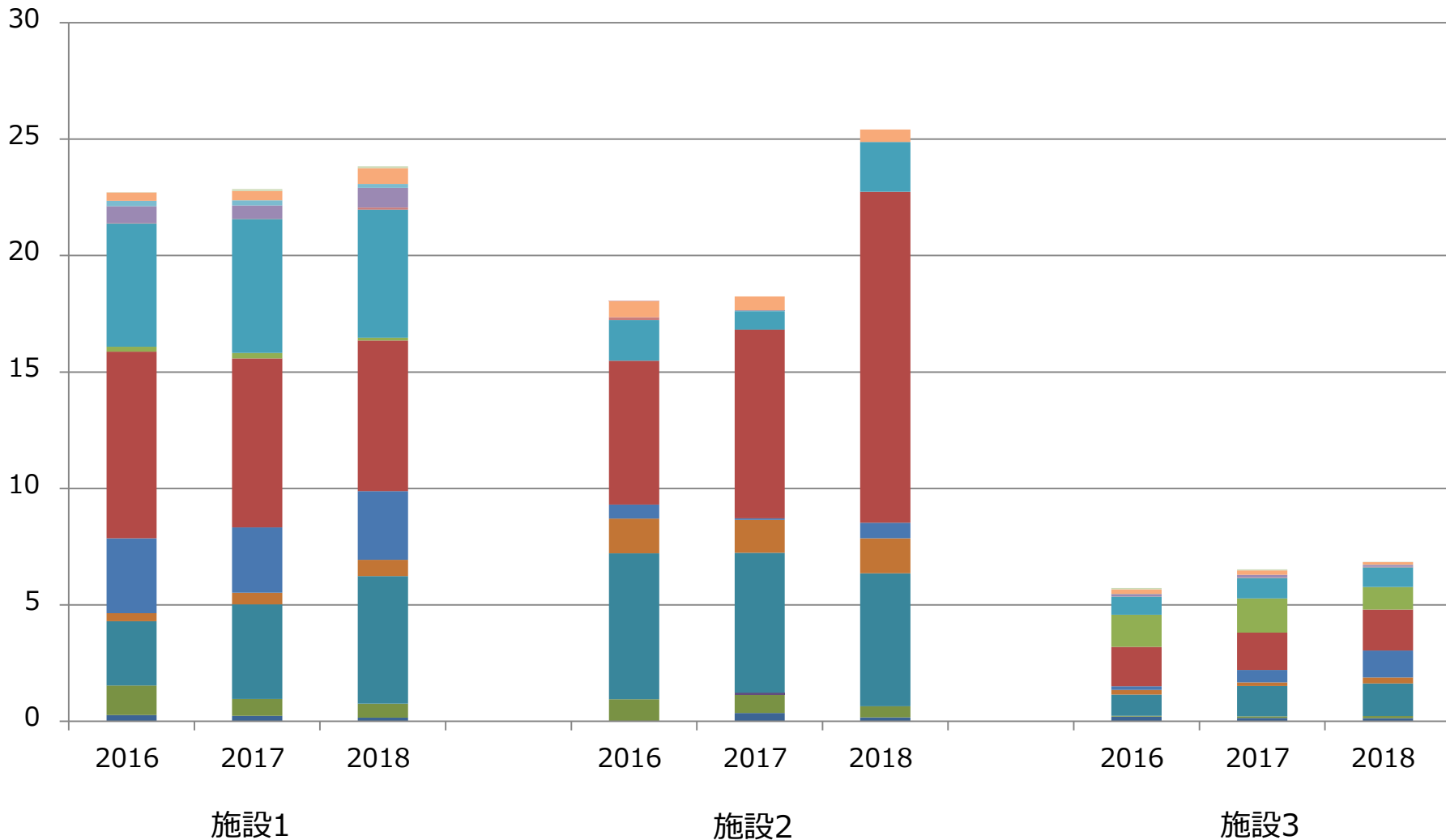
施設3

施設4

2016～2018年のDOT（加算2）

（3年間連続データ提出 3施設）

DOTs/100 patient-days



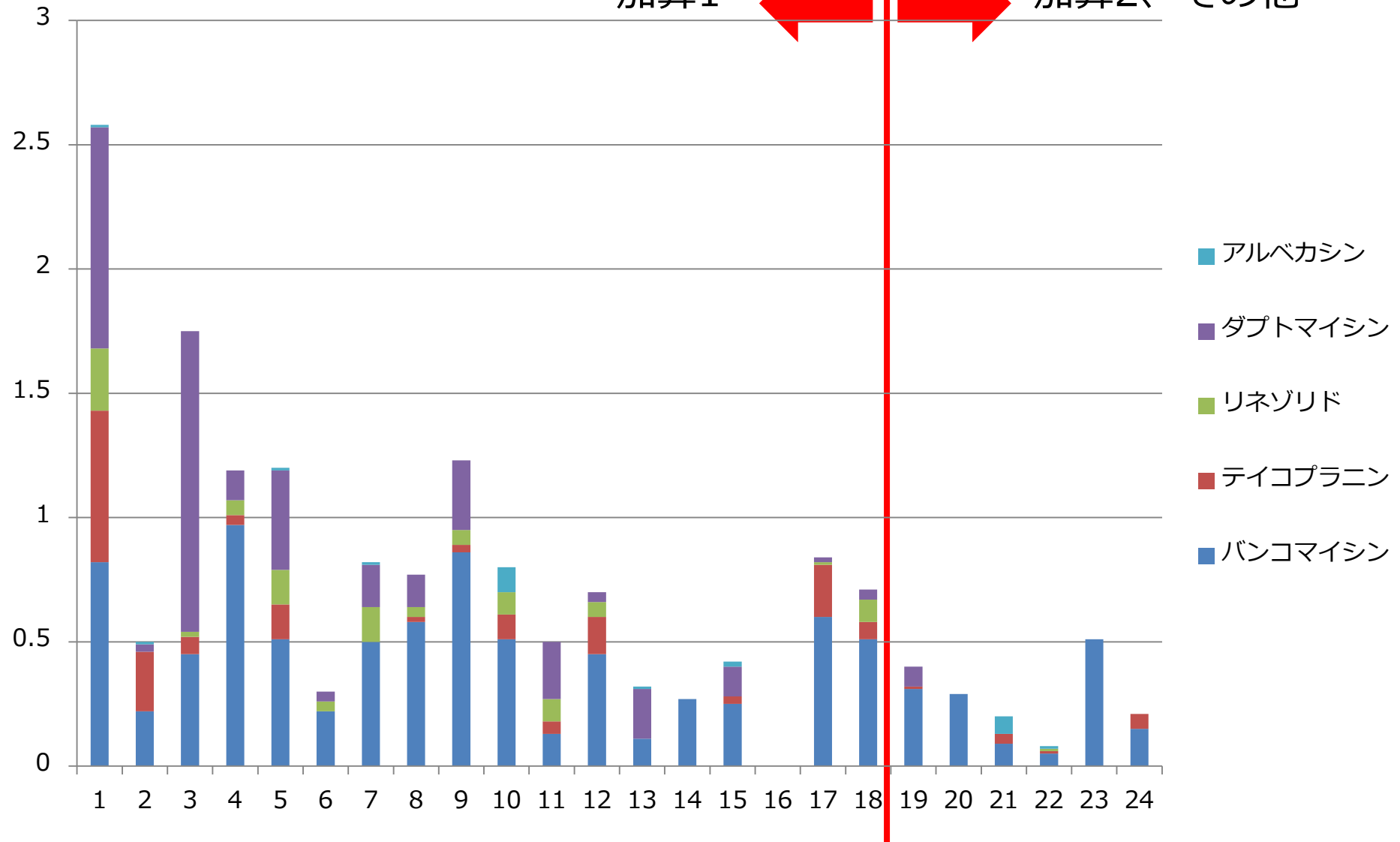
抗MRSA藥

2018年の抗MRSA薬 AUD

DDDs/100 patient-days

加算1

加算2、その他

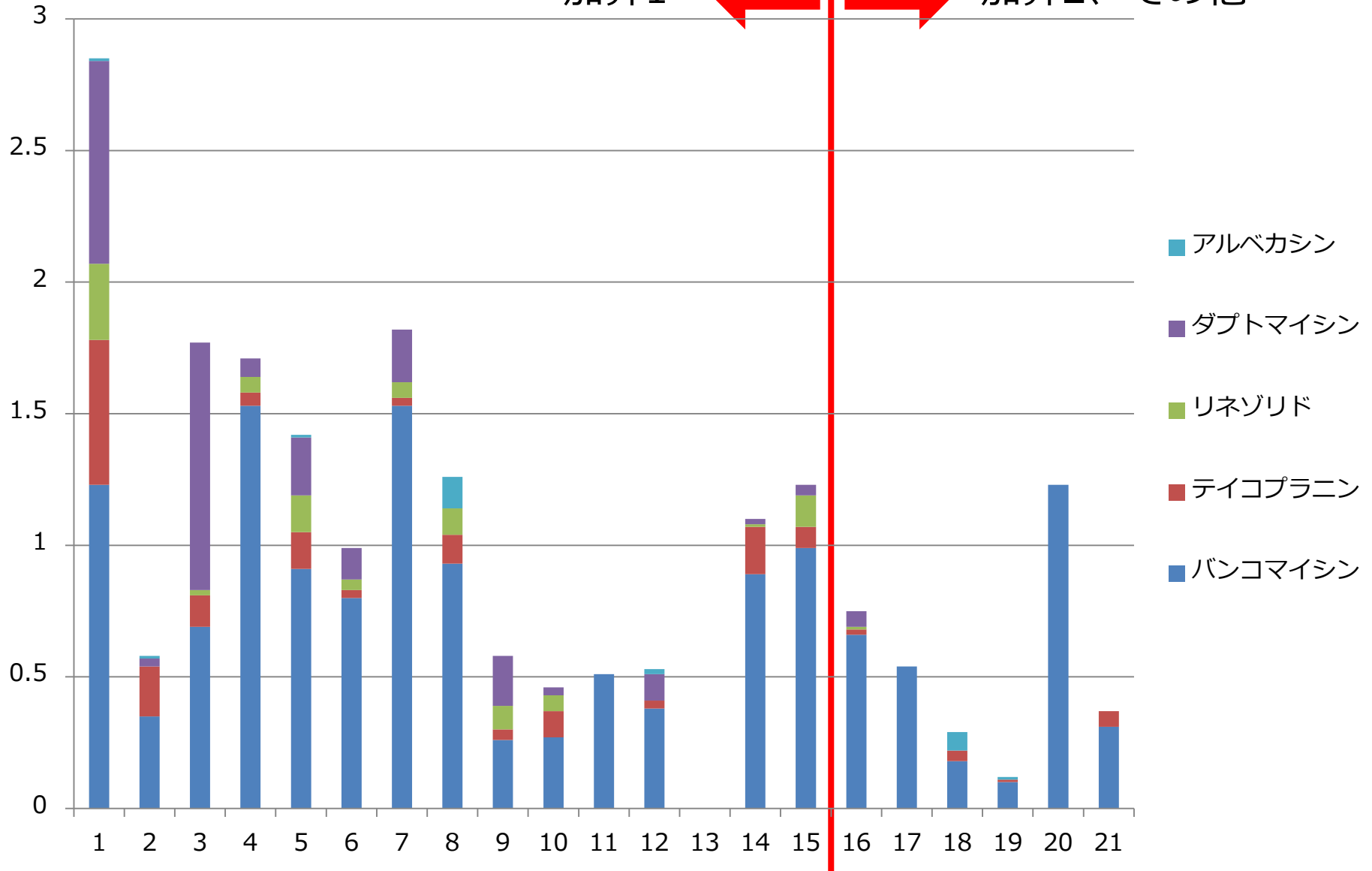


2018年の抗MRSA薬 DOT

DOTs/100 patient-days

加算1

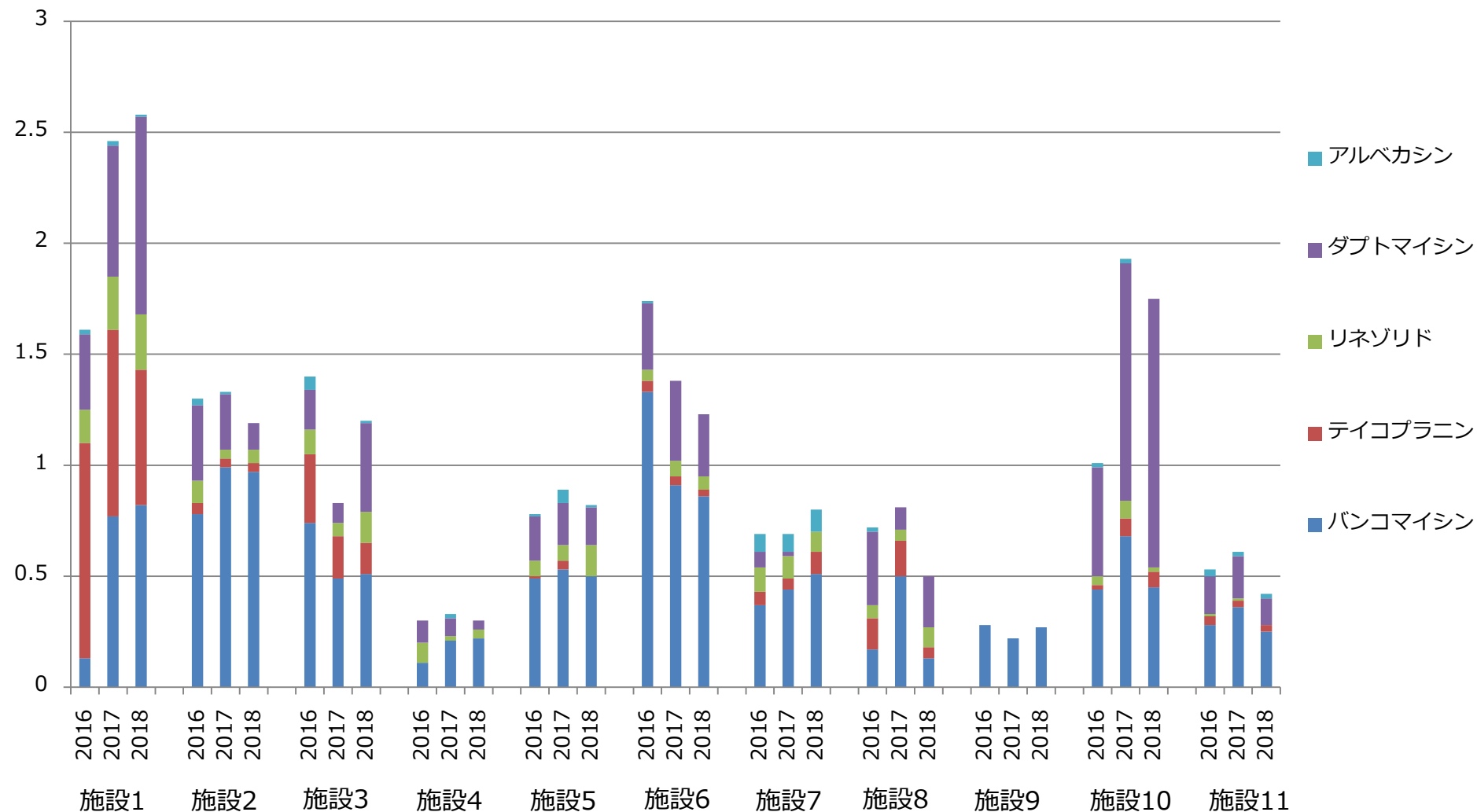
加算2、その他



2016～2018年の抗MRSA薬 AUD（加算1）

（3年間連続データ提出 11施設）

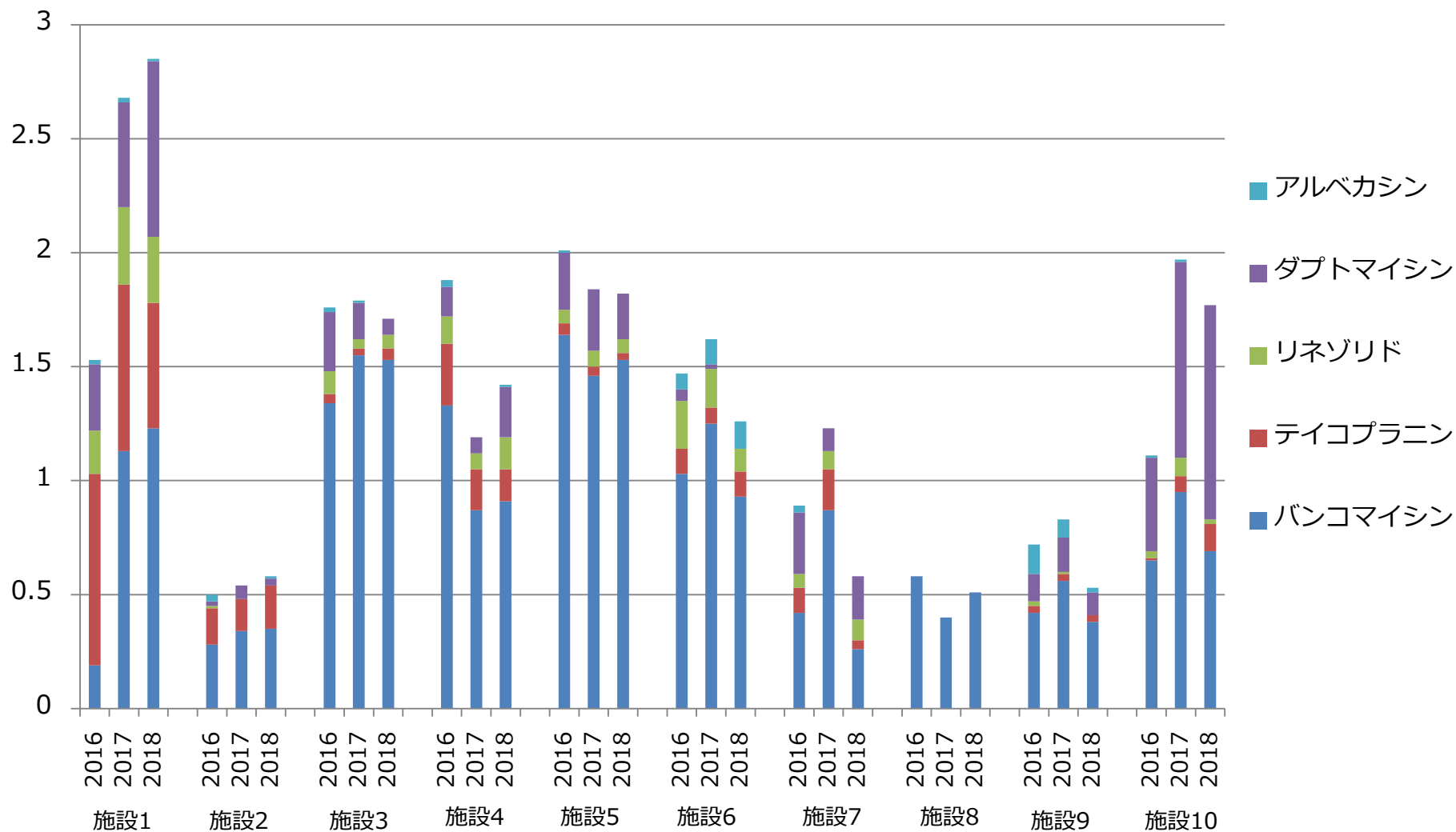
DDDs/100 patient-days



2016～2018年の抗MRSA薬 DOT（加算1）

（3年間連続データ提出 10施設）

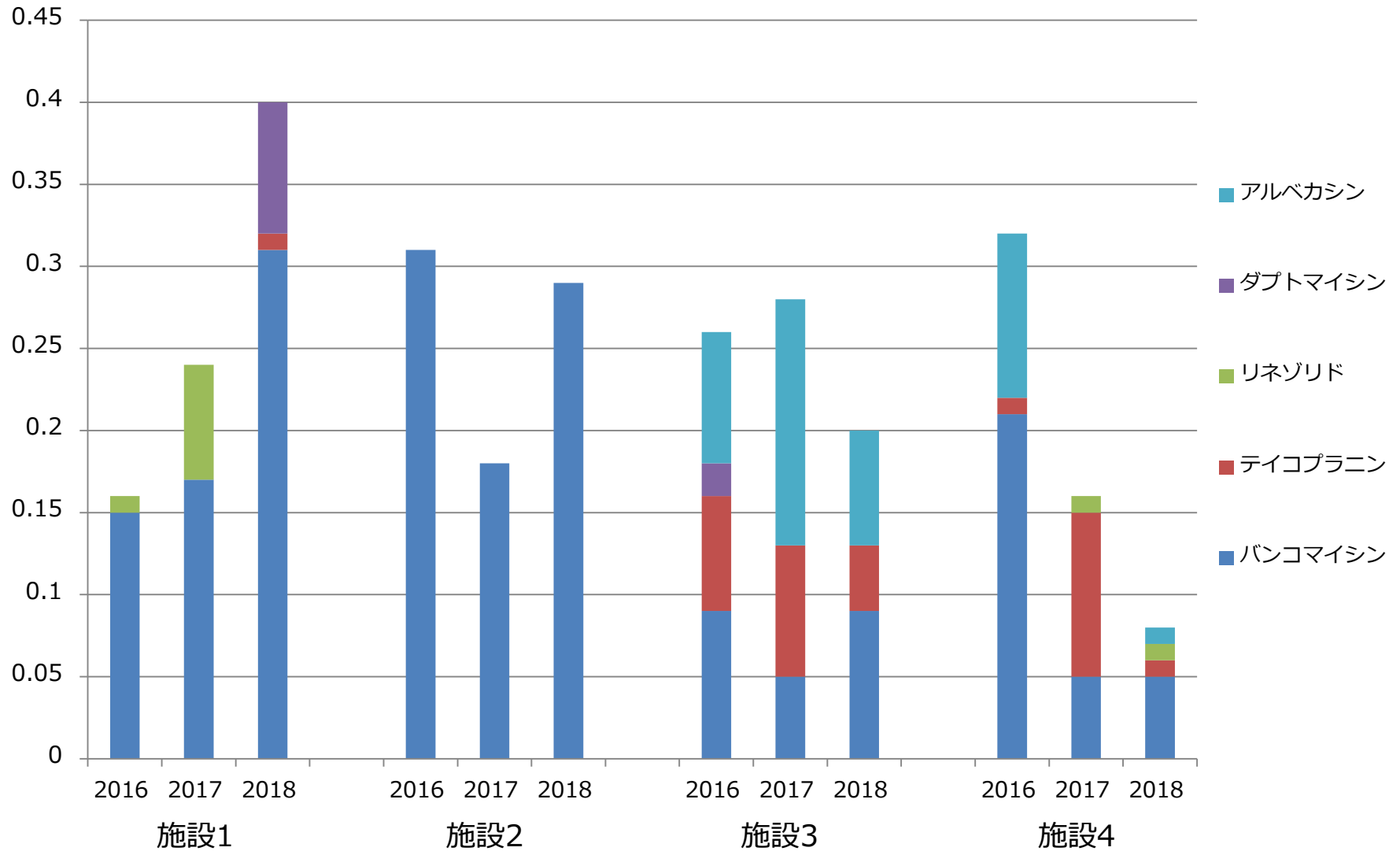
DOTs/100 patient-days



2016～2018年の抗MRSA薬 AUD（加算2）

（3年間連続データ提出 4施設）

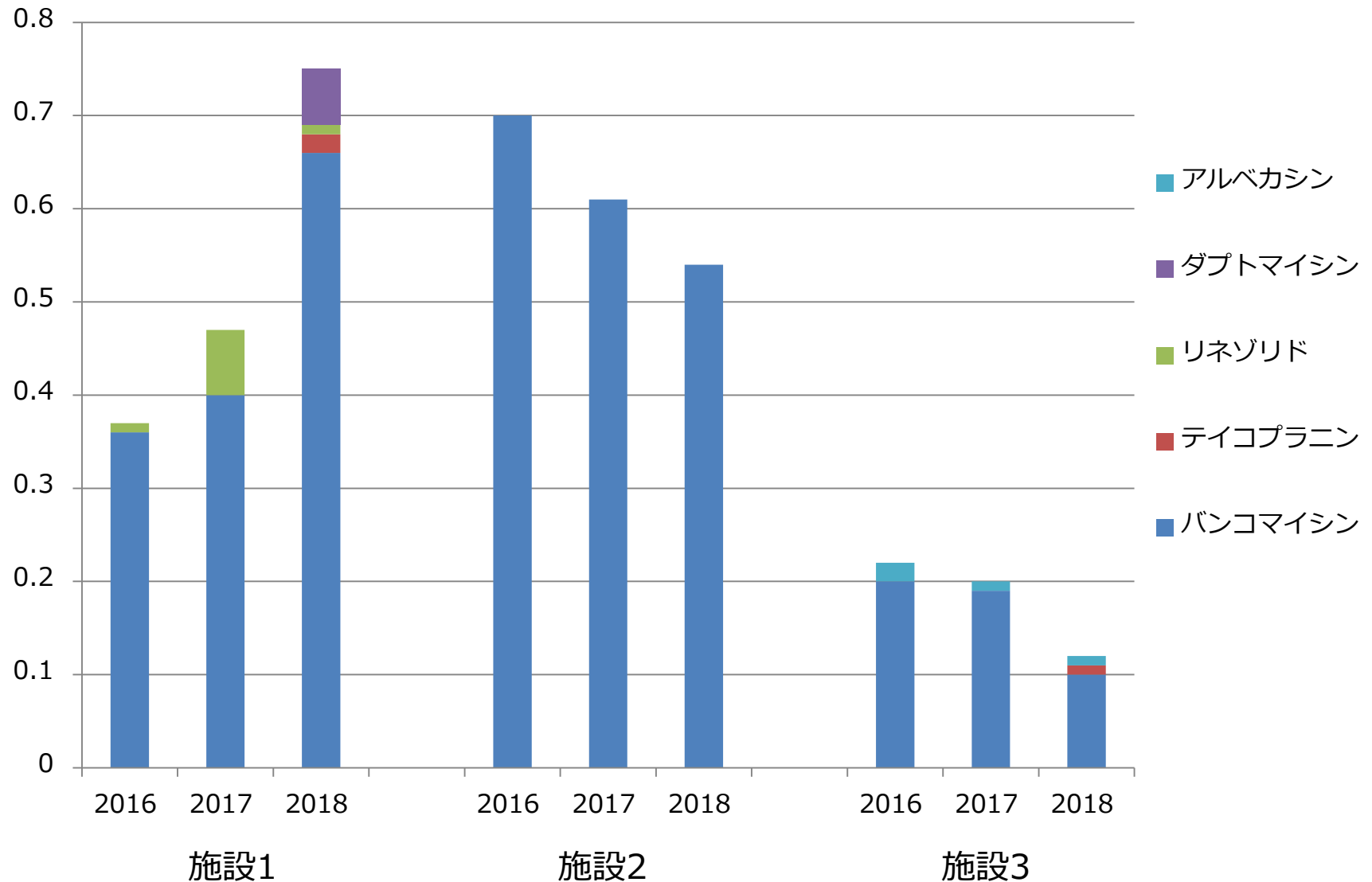
DDDs/100 patient-days



2016～2018年の抗MRSA薬 DOT（加算2）

（3年間連続データ提出 3施設）

DOTs/100 patient-days



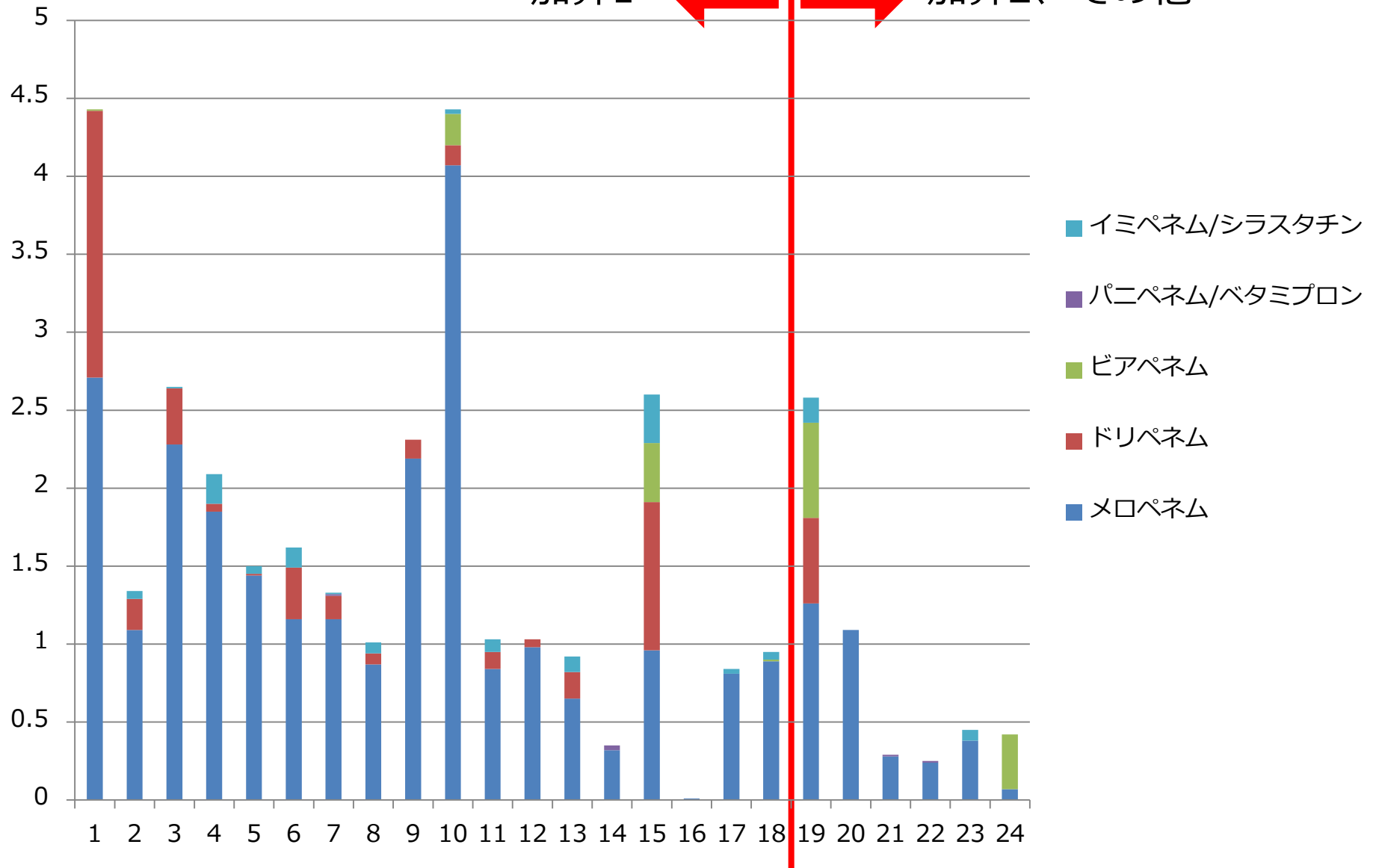
カルバペネム系薬

2018年のカルバペネム系薬AUD

DDDs/100 patient-days

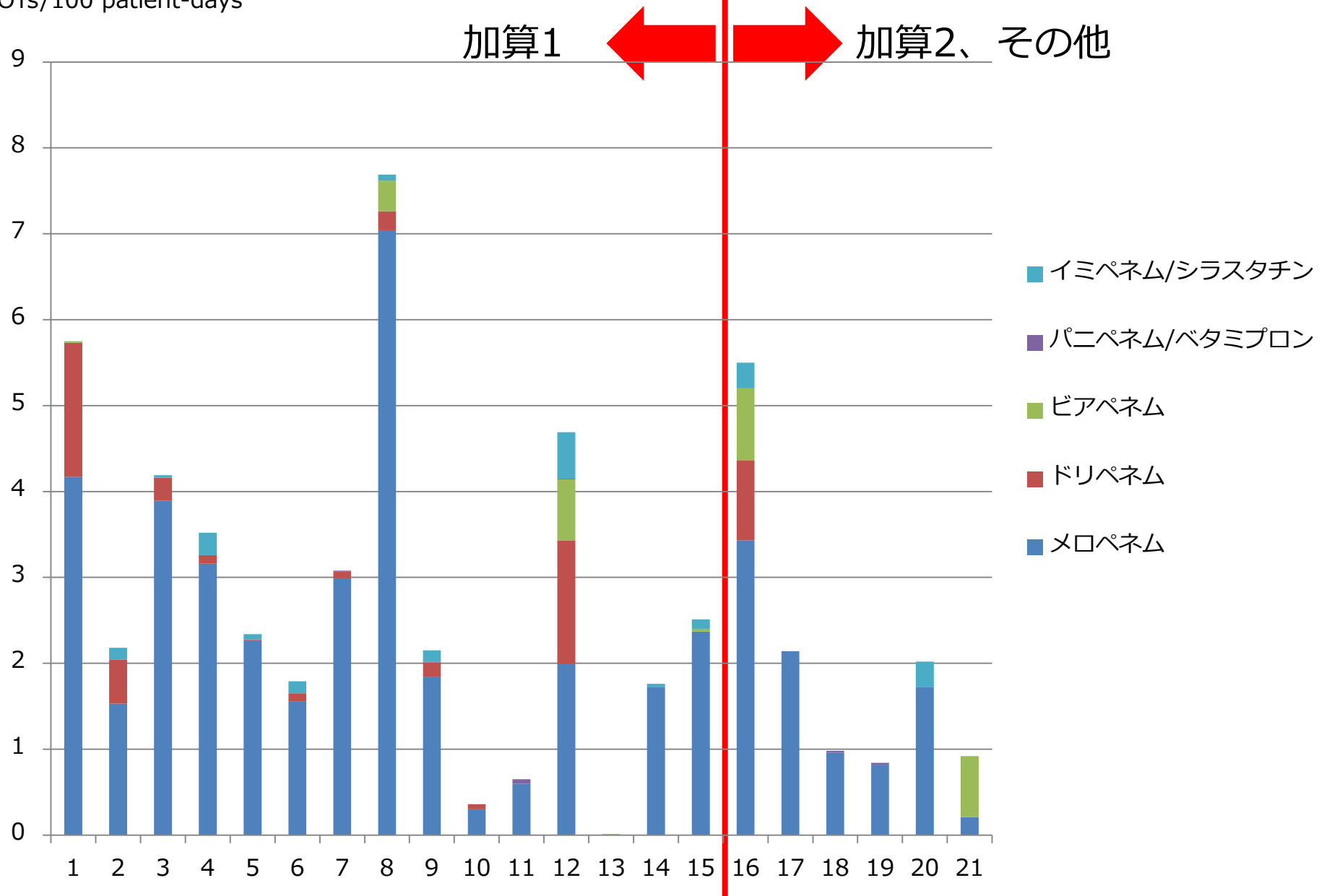
加算1

加算2、その他



2018年のカルバペネム系薬DOT

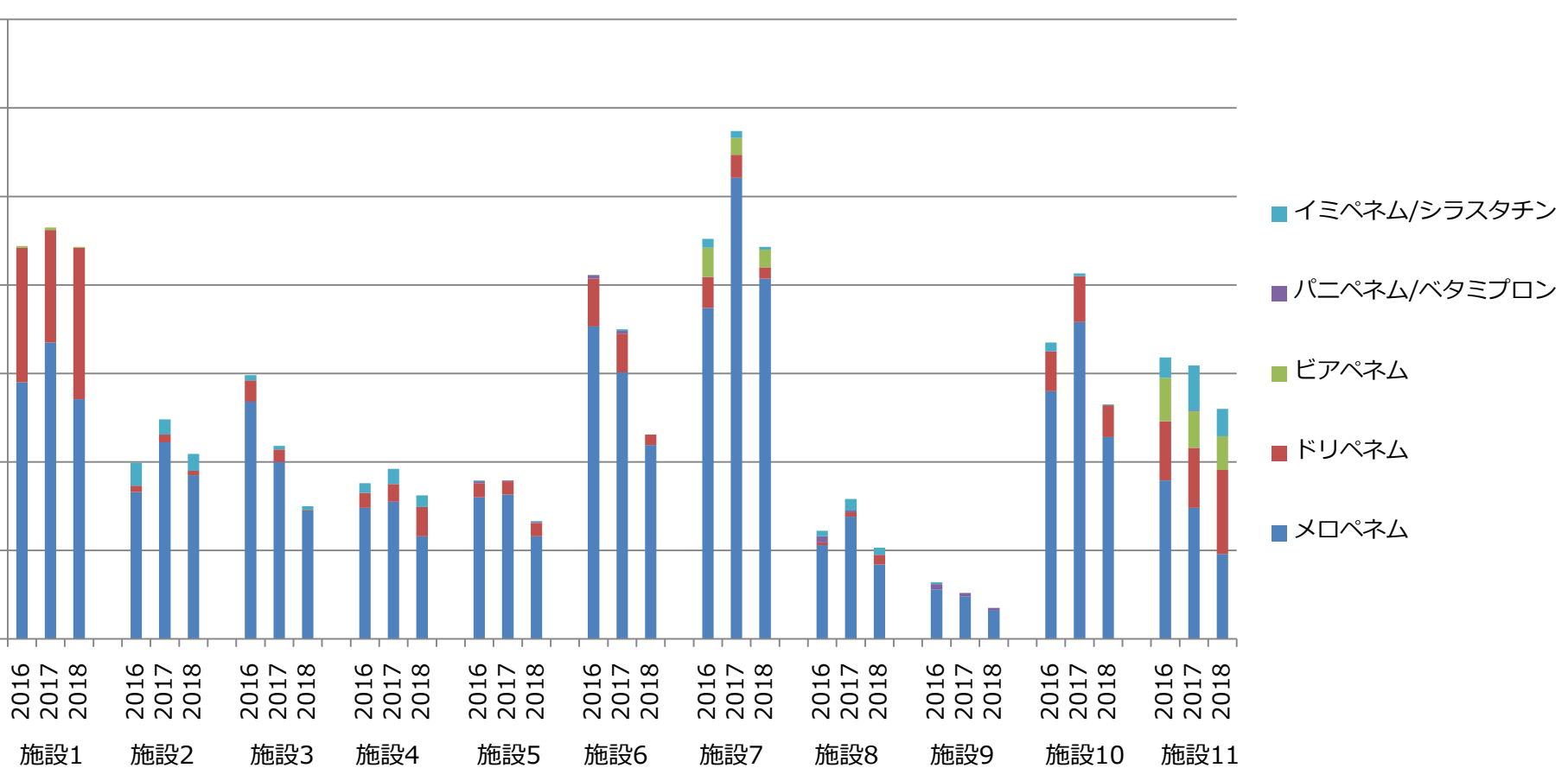
DOTs/100 patient-days



2016～2018年のカルバペネム系薬 AUD (加算1)

(3年間連続データ提出 11施設)

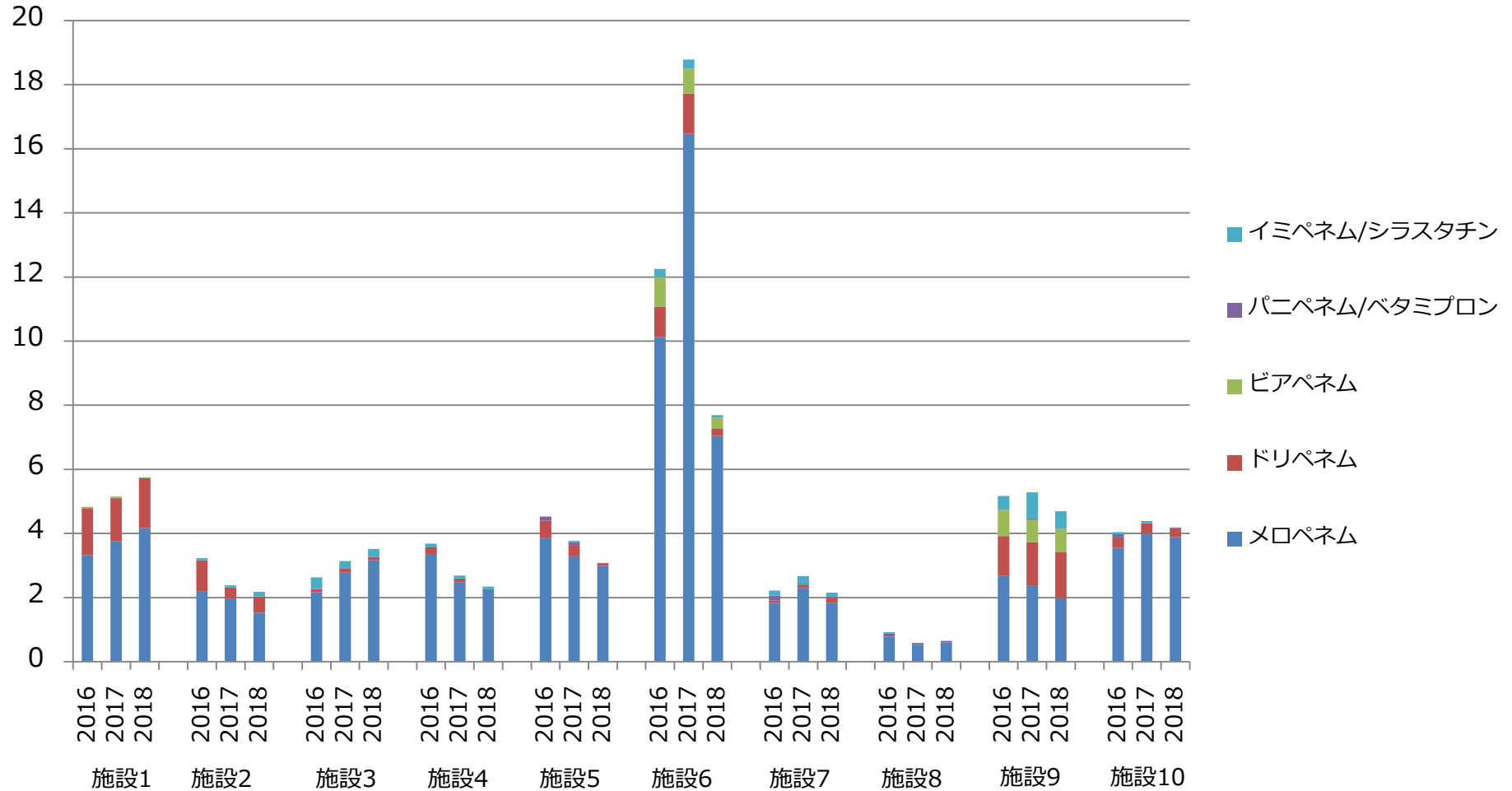
DDDs/100 patient-days



2016～2018年のカルバペネム系薬 DOT (加算1)

(3年間連続データ提出 10施設)

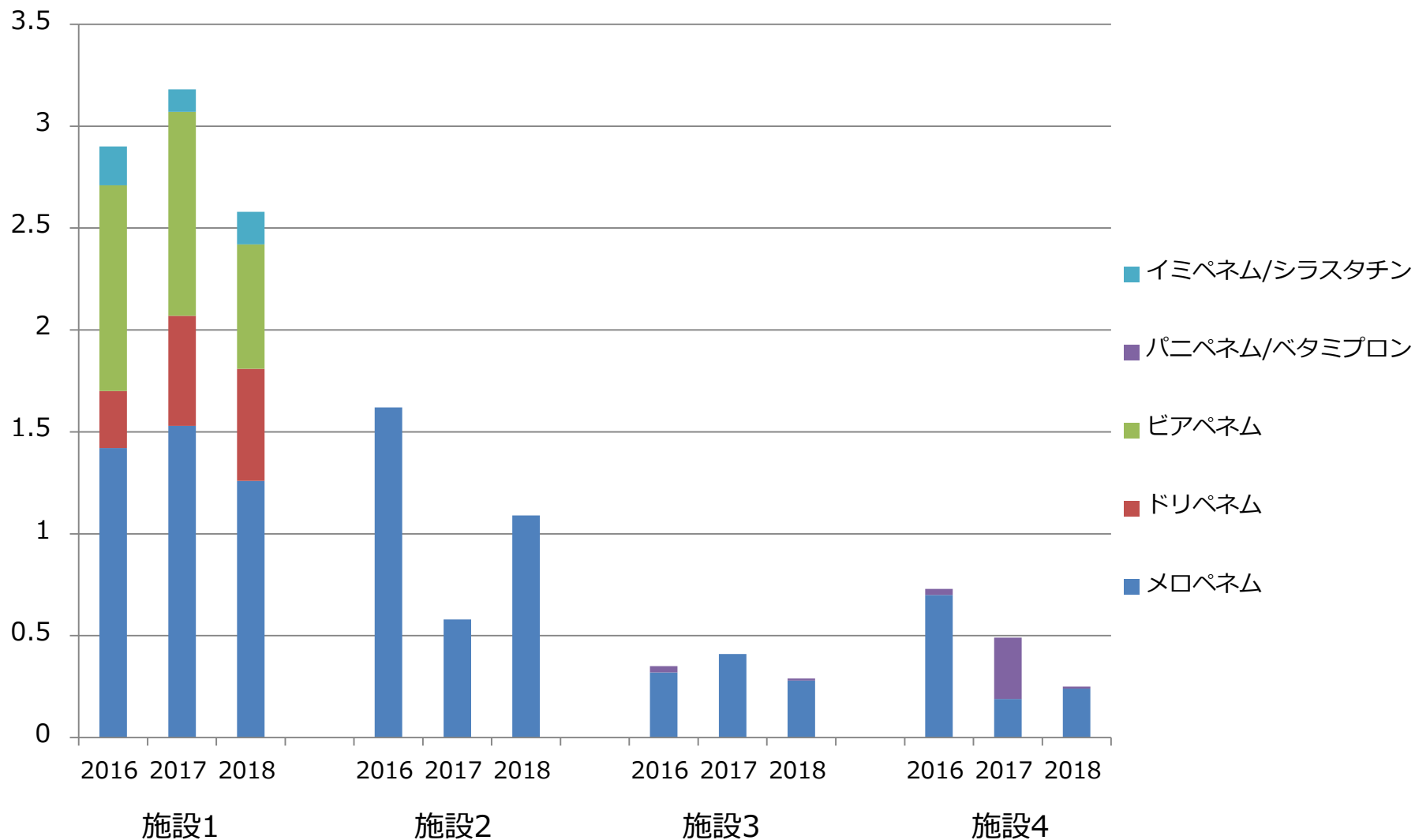
DOTs/100 patient-days



2016～2018年のカルバペネム系薬AUD（加算2）

（3年間連続データ提出 4施設）

DDDs/100 patient-days



2016～2018年のカルバペネム系薬 DOT（加算2）

（3年間連続データ提出 3施設）

DOTs/100 patient-days

